

富山大学保健管理センター紀要「学園の臨床」投稿・執筆規定

令和3年12月7日制定

令和4年2月21日改正

I. 投稿規定

1. 本学保健管理センターの紀要について

「学園の臨床研究」（欧文名：Clinical Study of Campus Life）は本学保健管理センターの紀要である。センターの紀要編集委員会では、他誌に未発表かつ投稿中ではない論文を年度ごとに募集し、編集を行い、年に1回発行する。

2. 第一著者の資格

- 1) 保健管理センターの専任教員
- 2) 学生・教職員の支援に携わる教職員
- 3) 編集委員会が認めた者、センターの教員との連名で投稿する者

3. 論文の形式

- 1) 投稿論文は、学生・教職員の心身の健康支援に関する原著論文、総説論文、実践報告、資料論文、その他とする。
 - ① 原著論文とは、独創性に富み、主張が明確に示されている、実証的または理論的な論文 であること。論文の形式は抄録、緒言、研究方法、結果、考察、結論、引用文献の順とする。
 - ② 総説論文は、学生・教職員の心身の健康支援に関する最近の内外の知見を総論的に記述したもの、あるいはそれに基づいて著者の見解をまとめたもの。
 - ③ 実践報告とは、広く学生・教職員の心身の健康分野における有意義な実践などをまとめたものとする。
 - ④ その他とは、上記①から③以外のものをいい、著者が投稿の際にその名称を申告する。
- 2) 著者は、原稿の種類（原著論文、総説論文、実践報告、その他）を申告する。
- 3) 投稿論文の他に、編集委員から執筆を依頼する依頼論文（特集論文、展望、書評、学会報告など）を掲載することができる。

4. 原稿の募集および投稿方法

- 1) 投稿原稿の表紙には、論文タイトル（和文、英文）、論文種類、筆頭著者名、所属先、連絡先、共著者名、共著者名の所属）を記入する。
- 2) 原稿は原則として、MS Word（.doc）形式で作成し、本文に通し番号を付けたファイルと図表のファイルを電子メールに添付して、編集事務局宛に送付する。
- 3) 原稿の締め切り日は、当該年度の1月31日とする。但し、その日が土曜日の場合は、翌々日、日曜日の場合は翌日とする。

5. 原稿の受付

- 1) 編集委員会では、投稿された原稿について、投稿規定に照らしてその要件を満たしていれば受け付ける。

6. 原稿の採否

- 1) 投稿論文の原稿の採否は、編集委員会の審査によって決定される。依頼論文は、編集委員会の審査を

省略することができる。

- 2) 全ての論文は査読者による査読を経て掲載される。
- 3) 編集委員会では、原稿について、本委員会外にも意見を求めることができる。
- 4) 編集委員会は、原稿の訂正を著者に求めることができる。
- 5) 編集委員会で採用を決定した年月日をもって、受理年月日とする。

7. 校正

- 1) 校正は著者の責任において所定の期間までに初校および再校を行う。
- 2) 校正時における原稿の修正は認めない。
- 3) 三校以降は編集委員会の責任で行う。

Ⅱ. 執筆規定

- 1) 言語は原則として和文または英文でなければならない。英文での投稿は、英語を母国語とする熟達した人の校閲を受けることを原則とする。
- 2) 脚注は必要最小限にとどめ、記載する場合には、論文中の該当欄に右肩付きで注1) 等と記載し、脚注そのものは別紙に記載する。なお、脚注も執筆枚数に含むものとする。
- 3) 略語は原則として一般的に利用されているものに限り、論文中で特有の略語を用いる場合には、初出の箇所にそのフルネームと略語を記載する。
- 4) 転載許諾について：他著作物からの引用、転載については、出典を明記するとともに、著作権保護のため、原出版社および原著者の許諾が必要となる。あらかじめ許諾を得ること。

Ⅲ. 利益相反 (COI) について

投稿にあたり、利益相反状態を論文末尾に明記する。

<例>

- ・「本研究は〇〇〇〇の資金提供を受けた」
- ・「利益相反はない」

富山大学保健管理センター紀要「学園の臨床」編集委員会

委員長 西山志満子

委員 松井 祥子

石木 学

中川 圭子

編集事務局

〒930-8555

富山県富山市五福3190

富山大学保健管理センター内

TEL : 076-445-6911 FAX : 076-445-8059

e-mail : nishiyas@ctg.u-toyama.ac.jp